

いよいよ本年5月1日

れいわ

# 「令和」の時代が到来

意味〓人々が

美しく心を寄せ合う中で

文化が生まれ育つ

出典〓「万葉集」日本の古典から

初めて採用

今年「令和元年」

心を新たに「前進」しましょう。

そして来年の

「東京オリンピック」大歓迎

## 主な行事予定

詳細は通知を参照して下さい。

### ◎「組長会議」第1回

4月28日（日）自治会館

午後7時30分開会

掲示板の新設と改良

新設にご協力感謝します。

- ・ 19組服部様市道側に掲示板を新設
- ・ 自治会館そばの掲示板表面改良

## 警察官巡回連絡中

現在、伊勢原警察署八幡台交番勤務員が大句地区の各家庭に伺っています。

用件は、交番保管記録の内容を確認するためです。

## 要注意・油断大敵

### ○「アポ電」注意

「今いくら持っていますか？」と電話があり、素直に大金を持っていると答えたら、押しかけてきて、金庫が開かなかつたため、家人は殺された。（東京都発生）

### ☆電話でお金の話は絶対しない。

### ○「Jコム」(有線テレビ会社)注意

「この会社の者です。割引をします。」と言ったので信用して家の中を見せたところ、家人のすきを見て金品を盗まれた。（伊勢原市内発生）

### ☆家の中を案内するとき始終同行する。

## ふるさと伊勢原

### ○日向石

今でも日向地区には、通称「日向石」と呼ばれる安山岩質の火山礫凝灰岩(かざんれきぎょうかいがん)が豊富にあり、一の郷や県立射撃場周辺の山の中には、数多くの石切り場跡があり、この石はフィリッピン海プレートに乗ってきた南海の孤島の一部と言われています。

### ○日向の石工

江戸時代の初めのころ、信州高遠(たかとう)の石工が七沢(厚木市)の石山を開き「七沢石」と呼ばれている石を採掘、その後石工は日向地区に入り「日向石」を採掘、これらの石は、青い凝灰岩が斑点上に混じり、別名「相模青石」とも呼ばれ墓石や碑石、道標に数多く用いられ伊勢原市内の寺院に多く残っています。大句の乙女地蔵や芳圓寺大地蔵も日向石です。

○高遠の石工は主に日向馬場の鍛代家(屋号〓大松)に宿をとり代々活動を続けていました。技術が他に盗まれないように、弟子は高遠から連れてきました。江戸時代末期に日向の勝五郎に習得させ、後世に引き継がれ、日向地区の石屋店となりました。

(参考資料)「いせはら」伊勢原市発行